

はっほう

No. **80**
2026.4.24

議会だより



能代山本クリーンセンター
を視察



3月
定例会

新年度予算を巡り議論沸騰

- 令和8年度予算…………… 2ページ
どんな事業に予算が計上されたかチェック
- 3月定例会ダイジェスト…………… 7ページ
改選を控えた最後の定例会終了
- 町政を質す 一般質問……………10ページ
5名の議員が町の方針を問う
- 特集 八峰町議会20年のあゆみ…17ページ
町とともに議会も20年
- 引退のあいさつ……………18ページ
水木議員、芦崎議員、門脇議員、見上議員から

町民の皆様へ

～お世話になりました～

私たち4名の議員は、この度の任期で職務を満了いたしました。

長い間、町民の皆さまから暖かいご支援、ご教授をいただきました。また、先輩や同僚議員、関係者の方々から多くのご指導を賜り、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

振り返ってみますと、町政施行20周年となる本年まで町民の代表として町政に関わってまいりました。

その間、町村合併、峰浜庁舎焼失、東日本大震災、新型コロナウイルス感染症拡大など、議会人として責務を強く感じる出来事が数多くありました。

そしてまた、少子高齢化に加え、物価高騰や資源供給の逼迫など、社会情勢の不安や問題が、わが町の基幹産業である農業や漁業などにも大きな影を落として

います。

国、県の施策の充実と併せて、新しく選ばれる議員の方々に、町の将来を強く託したいと思えます。今後は一住民として地域コミュニティの向上に努力してまいります。

「行く道は精進にして忍びて終わり悔いなし」苦難に身を沈めても耐え忍び、決して悔いることはないという言葉です。

議員活動を通し、様々な方と出会い、お話できたことは人生の財産です。

本来であればお世話になった方々に拝趨し、お礼申し上げるべきところ、町民の皆さまへ全戸配布の「議会だより」誌上をお借りしての挨拶となりましたことをご理解賜りますようお願い申し上げます。

町の更なる発展を願ってご挨拶とさせていただきます。



水木 寿保 議員



芦崎 達美 議員



門脇 直樹 議員



見上 政子 議員

編集後記

質問時間50分にも及ぶ時もある一般質問を、8000字程にまとめる編集はなかなか大変な作業です。質問・答弁の全てをお伝えすることは出来ませんが、委員会としても、工夫しながら「伝わる紙面」になるよう努めてきました。

議会の情報公開の使命と、町政に関する議論や諸課題を共に考え、町民に伝える一つの懸け橋になる紙面内容の充実、更なる研鑽を積む必要があると感じています。

現在のメンバーでの編集は今号で最後となりますが、配布される頃には新しい議員の顔ぶれも揃っているはず。

「町議会だより」は新たなメンバーの編集に託します。

(記 山本 優人)



- 議会広報編集委員会
- 委員長 山本 優人
- 副委員長 奈良 聡
- 委員 伊原 吉
- 委員 見上 八子

注目！ 新年度予算の事業

2つの町が一緒になって **20年**

八峰町誕生20周年記念関係事業 **108万8千円**



合併20周年を迎えることに伴い、記念式典を5月に開催予定

妊婦とその家族を支援

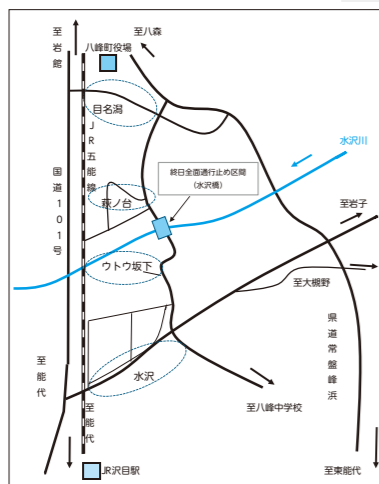
治療入院する赤ちゃんの家族へ助成事業 **10万円**
産科医療機関が遠い妊婦への助成 **19万8千円**



対象となる人へ、交通費や宿泊費の助成を行う

水沢橋の撤去により 迂回路を拡張

町道萩ノ台線道路改良事業 **7300万円**



水沢橋の撤去が決定し、国道101号への町道萩ノ台線を広くする。

町の観光スポット 留山遊歩道を整備

留山遊歩道改修工事による森林体験施設整備事業 **3505万4千円**



倒木処理、改修など、より安全で利便性がよくなるように遊歩道を改修

令和8年度一般会計歳出総額 **61億4200万円**
前年比4億6700万円（7.1%）の減

町は収支不足による財政調整基金（町の貯金）の取崩しの常態化が課題となっており、財政健全化のため、財政調整基金の取崩しは昨年より4千万円減の1億4千万円とし、町債（町が借りるお金）は合併後で一番少ない3億1410万円としました。

財政の健全化に取り組みつつ、人口減少を抑制し、基幹産業である「農林水産業の推進」、「地域資源を活用した観光の振興」、「子育てをしやすい環境を整えるための支援」に取り組んでいきます。



堀内町長

町の課題解決のため、この事業に取り組みます

～八峰町総合計画（令和8年度～令和17年度）～

仕事づくりのための産業振興

- ◎生薬栽培推進事業
 - 生薬栽培 **289万3千円**
- ◎雇用創出活動支援事業
 - 雇用創出活動支援 **372万円**
 - 地域資源活用商品開発等補助金 **60万円**
(前年比2倍)
 - 生産性向上等支援補助金 **200万円**
- ◎担い手人材確保育成事業
 - 人材確保支援事業 **57万2千円**
- ◎水産業振興事業
 - 種苗放流事業 **284万1千円**
 - 磯根資源再生事業 **170万円**
 - つくり育てる漁業推進事業 **50万円**
(前年比0.5倍)

定住・移住対策

- ◎住まいづくり応援事業
 - 住まいづくり応援事業 **1000万円**
- ◎若者世代生活応援事業
 - 定住促進住宅事業 **965万5千円**
(前年比2.2倍)

少子化対策

- ◎子育て世帯負担軽減事業
 - チャイルドシート購入支援 **5万円**
 - 育児助成金支給 **120万5千円**
 - 赤ちゃん誕生祝金 **450万円**
(前年比3倍)
 - 不妊治療費補助金 **36万円**
(前年比1.2倍)
- ◎入学卒業祝品支給事業
 - 入学卒業祝品支給事業 **66万3千円**
 - 保育料全額助成 **362万6千円**
 - 副食費全額助成 **216万1千円**
 - 学校給食費無償化事業 **1378万8千円**
(前年比2.2倍)
- ◎ICT教育等環境整備事業
 - 教育ICT環境整備事業 **3247万7千円**
(前年比4.4倍)
 - 外国語指導員配置事業 **610万1千円**
 - 国際交流推進事業 **46万5千円**
- ◎ふるさと教育推進事業
 - コミュニティスクール推進 **232万4千円**
 - 八峰白神ジオパーク推進協議会補助金 **150万円**

人口減少社会への対応

- ◎心と体の健康づくり事業
 - ことぶき大学開催事業 **133万5千円**

予算のポイント

財政調整基金とは？

▽年度間の財源調整などに対処するための資金積立です。予期せぬ災害や、緊急性の高い公共施設の整備などに備えて貯めています。

去年から予算が減った理由は？

▽大きい理由として、4月から稼働する能代山本クリーンセンター（広域ごみ処理場）の工事、旧堀川小学校の解体工事、役場のシステム改修が7年度で終わったことです。

一方で、町道萩ノ台線の道路改良工事や公共施設の照明のLED化など増えた予算もあります。

これから予算が増える予定は？

▽水沢橋の撤去が決定したため、工事にかかる費用が分かり次第、補正予算で対応したいと考えています。

また、町債（町が借りているお金）の返済にあたり、金利の上昇にもない、利払い費が非常に多くなる見込みです。

町の予算説明を受けて、議会は何をチェックし、どう判断したか？
次のページでチェック！

予算特別委員会

町から提出された令和8年度の予算案を、議員で構成する予算特別委員会で4日間にわたり審査しました。
町への質問のいくつかをお知らせします。

予算特別委員会全体会



くらし・防災

施設の解体費用の節減を

問 使われなくなった施設を利活用するか解体するか、すぐに決めることで解体費用の節減につながると思うが対策は。

答 施設が使われなくなつたと見込まれた時点から、利活用の有無を検討するようにしたい。



人件費や物価高騰等により、解体費用も年々増加している。

ゴミ袋の値段見直しは

問 ゴミ袋の料金改定の検討は。

答 能代山本クリーンセンターの開設にあわせ、情報収集を行っている。

クマの捕獲の報償費

問 1頭1万円は安いのではないか。

答 猟友会から増額の要望はきていない。

休日のフマ目撃情報は

問 土日祝日の対応は。

答 令和7年度までは役場経由し、担当者に連絡が入っていた。8年度からは専用の携帯電話を連絡先として対応する。

商工・観光

留山入山者の費用負担は

問 環境整備や維持管理のため、入山者からの費用負担を検討しては。

答 維持・修繕等の財源確保は重要であるため、検討する。

中央公園整備の財源は

問 住友金属鉱山から寄付された残りの財源は。

答 令和8年度で全て使い切る状況。

防災事業は地域事情の分かる業者に

問 地域防災計画とハザードマップ作成の委託先は、地域を熟知している業者でなければならぬ。

答 地域防災計画は入札を行い、ハザードマップは前回と同様の業者に委託予定。

財政

公共施設工事に基金の充当は

問 道路や橋の補修工事に基金(*)を充当することは可能か。

答 公共施設の補修や解体に基金を充当している市町村があるので、基金の創設も考えられる。

【基金】

特定の目的のために積み立てておく資金。町では、不測の事態に備える「財政調整基金」や就学支援のための「奨学資金貸付基金」などがある。

道路・河川・水道

消火栓の耐用年数は

問 消火栓更新に毎年多額の費用がかかっている。

答 耐用年数は約15年。消防署が巡回し、動作確認して順次更新している。

教育・生涯学習

奨学金返還助成の実績は

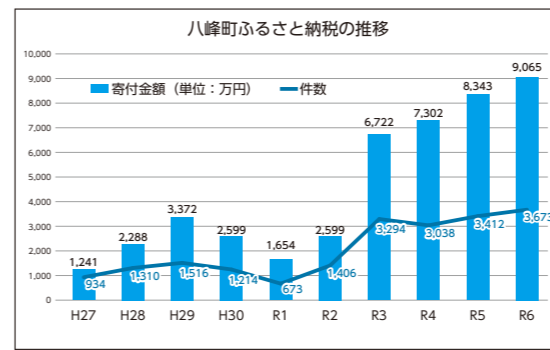
問 町の奨学金を借りた人で、町に住み働いている人に対して返還助成をしているが、その実績は。

答 令和5年度10名、令和6年度9名。

自主財源確保の見込みは

問 税金や交付金以外の収入として、ふるさと納税や債券運用があるが、他的手立てはあるか。

答 風力発電の固定資産税があるが、額が未定のため当初予算には未計上。ふるさと納税も重要な自主財源だが、特定の財源に頼りすぎない財政運営も必要。地方税を基幹的な財源とすることを基本としつつ、ふるさと納税などの各種財源を活用しながら、安定的な財政運営に努めていく。



医療・健康

宅配弁当料金を値上げ

問 配食サービス(お弁当の配達)の予算が増えている理由は。

答 現在78人が利用。物価高騰の影響により、実業者への支払いを100円増の1000円に、利用者負担を50円増の250円とする。(いずれも1食あたり)

税金

空き家解体と固定資産税の関係は

問 空き家を解体すると固定資産税が高くなると聞く。危険な空き家が増える原因となるのでは。

答 更地になると住宅用地の特例から外れ、土地の固定資産税が高くなる。また、「管理が行き届いていない特定空き家」に指定されると、その時点で特例から外れ固定資産税が高くなる。

ファガスと峰栄館の統合は

問 文化交流施設集約化検討委員会とは。

答 社会教育委員など関係団体等とのワークショップを開催予定。施設の統合、場所や建物などについて話し合う。

あきた白神体験センターの今後は

意見 県から支払われている指定管理は8年度で終了する。

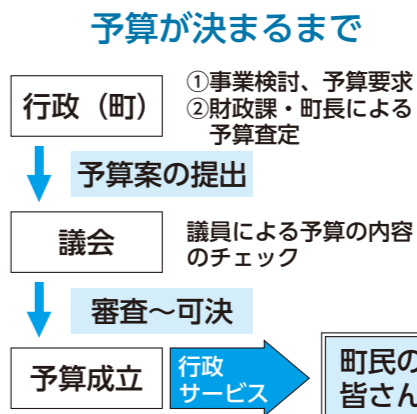
【あきた白神体験センター】平成19年に秋田県が建設し、指定管理を受けて八峰町が運営管理を行っている。

9年度に向けて、ハタハタ館との関連もあることから検討委員会などが必要ではないか。





提出された予算案を予算特別委員会で審査し、最終的にすべて可決となりました。その上で、2つの付帯意見を3月議会定例会後に町長へ提出しました。



3月 定例会

ダイジェスト

陳情	補正予算	新年度予算
2件	5件	8件
	条例	工事
	8件	4件
	人事	その他
	2件	3件

3月定例会(2月27日～3月13日)では、新年度予算や条例改正など30議案を審議し、すべて可決しました。



改選を控えた最後の定例会には、多くの傍聴者が訪れました。

令和8年度一般会計予算案について 議員の賛成・反対が同数

可否同数のため
議長裁決により
原案可決

町から提出された予算案に対して、議員から修正動議(*1)が提出されました。賛成・反対の立場からさまざまな討論が行われ、議員の採決は賛成5人、反対5人の同数となりました。町が提出した原案についても可否同数となり、議長裁決(*2)により原案可決となりました。

ハタハタ館管理運営費に議員から減額の修正動議提出

《提出者》

笠原吉範議員、腰山良悦議員、見上政子議員、須藤正人議員、山本優人議員

《修正内容》

- 経営改善計画など具体的なプランが示されていない中で増額を認めることは、町に甘え営業努力を怠り、更なる資金不足を起こす危険性につながる。
- ハタハタ館運営業務委託料1,500万円(前年度からの増額分)を減額するもの。



議員の賛成・反対意見は8ページで紹介

用語の説明

修正動議(*1)

議員は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合、修正案を添えた「修正動議」を提出します。

議長裁決(*2)

議会の採決を行い、賛成・反対の議員の数が同数となった場合、議長がその議案の可決・否決を決めること。

新年度予算へ議会から2つの意見

1. ジオパーク推進事業の今後について

ふるさと学習など教育面での成果は認められるが、日本ジオパークの認定後の波及効果を見極め、世界自然遺産白神山地との一体性を図りながら、教育のブランド化を主体とした将来的なビジョンを策定すべきではないか。

2. あきた白神体験センターの運営について

利用者増につなげるため、積極的な営業活動は評価するものの、年々児童・生徒の減少が続くことが明らかである。施設の運営にあたっては多額の町費負担となっている中で指定期間の最終年度を迎え、県に対して応分の負担を求めるなど、今後の運営に関する協議を早急に進める必要がある。

議会メモ

可決された8年度予算は、町民の皆さまへの福祉・教育・産業・道路・水道など様々な行政サービスで使われます。また、予算の過不足が発生した場合は、「補正予算」が議会に提出されます。議会では、適切に予算が使われているか。補正予算が提出された場合はその予算が本当に必要かを今後も町民の皆さまの代表としてチェックします。

議員の仕事はまだ
まだ終わらない!

ため、修正案に反対。



賛否が分かれた採決 5対5

予算修正案に対する反対討論

伊藤 人件費や光熱費が高騰する中でサービスを維持するため、必要な増額。補正ありきではなく、必要な経費は当初から計上するべき。

奈良 人口減少や新型コロナウイルス流行は経営不振の理由にならないというのは酷である。ハタハタ館は町内唯一の温泉施設であり、この夏には資金ショートが見込まれているにもかかわらず管理料の増額を当初予算に計上しないのは無責任。

門脇 ハタハタ館は観光の柱であり、存続は全員の総意。事業計画を立てる際、補正ありきの当初予算ではうまくいかない。4月に議員選挙があり、新しい構成となった議会において、不足による補正が可決される保証はない。

予算修正案に対する賛成討論

見上 ハタハタ館は観光中心の運営が進み、町民の足が遠のいていっているのではないかと。今後の改善策が無いまま赤字補填をしても切りが無い。高齢者のために交通の便を充実させ、町民に愛される施設にするべき。

笠原 経営改善計画など、具体的な指針が示されていない。困ったら町が助けてくれるという考えは営業努力を怠り、更なる資金不足を起こす危険性がある。安易な予算の増額は納得できない。

(賛成・反対同数のため、議長裁決で修正案否決)

補正予算

記録的な大雪で

除排雪費用の予算を増額

令和7年度 一般会計補正予算 (主な補正の内容)	
・除雪費の追加(専決処分)	6717万6千円
・公営住宅の電気温水器修繕費	171万9千円
・文化ホール雨漏り、照明修繕	156万8千円
・財政調整基金に積立	9333万3千円
・減債基金積立金に積立	5204万8千円



道路脇に積み上がった雪

(全員賛成で承認)

議会から町へ(質疑)

質問 住宅の不具合の相談や修繕の対応はどうなるのか。子育て世帯の定住のためにも町営住宅は必要では。

答弁 どちらも町が管理する住宅に代わりは無い。むしろ地域活性化住宅に移行されることにより、入居時の家賃や収入条件も緩和される。

議会から町へ(質疑)

質問 入浴をした場合もトレーニングルームの利用料金は変わらないのか。

答弁 まだ料金設定はしていないが、以前は入浴料金500円でトレーニングルームも利用する場合は550円だった。以前より高額とならないようにしたい。

を超えない料金設定とする。

※3月定例会時点では利用料金が未定でしたが、下記の通りとなりました。

利用料金	一般：100円 (中学生以上) 小学生以下：50円
利用時間	2時間
その他	当日入浴者および 宿泊者は無料

(全員賛成で可決)

一般議案

町営住宅6戸を地域活性化住宅へ

議案の内容

○かもめ団地4戸、松波団地2戸の計6戸が木造住宅の耐用年数である30年を経過するため、町営住宅から地域活性化住宅へ移行させる。令和8年度以降、町営住宅を地域活性化住宅へ毎年移行し、令和16年末には93戸全て地域活性化住宅となる予定。

議案の内容

ハタハタ館トレーニングルーム再開

○ハタハタ館のトレーニングルームの再開にあたり、使用料の上限額を設定。一般は1人600円、小学生は1人300円



ハタハタ館トレーニングルーム

(全員賛成で可決)

「いごも誰でも通園制度」

町内子ども園でも実施

議案の内容

○就労要件等を問わず月一定時間、保育施設を利用できる「いごも誰でも通園制度」が令和8年4月1日より始まるため関係条例を制定。

議会から町へ(質疑)

質問 観光で町を訪れた人が、登山の間の数時間だけ児童を預かってほしいということも想定される。こういったシミュレーションをしているか。

答弁 町民を前提としており、観光客などの例は想定していなかった。利用するには居住地の役所への申請が必要となるため、唐突に子ども園に児童を預けるといったことは無いものとする。

(全員賛成で可決)

賛成討論

見上 この陳情は中小企業や小規模事業者の支援を国に求める内容となっている。賃金格差があると秋田県に残る若者は少なくなる。地域活性化のためにも賛成。

賛成討論

○最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出の陳情(提出・秋田県社会保障推進協議会)

見上 最高裁判決で保護費引き下げは違法であると決定したにもかかわらず、被害回復の支給は行われず、全国で裁判が行われている。速やかに支給すべき。

(賛成少数で不採択)

人事

教育委員会委員

○奈良 麻子さん 椿(新任)

沢目財産区管理委員

○柴田 正高さん 目名瀧(再任)

(全員賛成で同意)

陳情

○「最低賃金」の改正と中小企業・小規模事業所支援の拡充を国に求める意見書」の採択を求める陳情(提出・秋田県労働組合総連合、秋田県春闘共闘懇談会)

反対討論

山本 最低賃金が1500円になると、町内企

賛否が分かれた議案・陳情の結果

○：賛成 ●：反対

	笠原吉範	伊藤一八	奈良聡子	芦崎達美	水木壽保	菊地薫	腰山良悦	見上政子	須藤正人	門脇直樹	山本優人	皆川鉄也	議決結果
令和8年度八峰町一般会計予算(修正案)	○	●	●	●	欠	●	○	○	○	●	○	●	否決
令和8年度八峰町一般会計予算(原案)	●	○	○	○	欠	○	●	●	●	○	●	○	可決
八峰町営住宅設置条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○		可決
令和8年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○		可決
令和8年度八峰町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○		可決
令和8年度八峰町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○		可決
「最低賃金」の改正と中小企業・小規模事業所支援の拡充を国に求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	○	○	欠	●	○	○	●	●	●		不採択
最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出の陳情書	●	●	○	○	欠	●	○	○	●	●	●		不採択

議長は採決に加わりません



かさはら よしのり
笠原 吉範 議員

笠原 2月9日教育産業建設常任委員会を開催し、担当課から指定管理料の増額の説明を受けたが、「当初予算での3,500万円から5,000万円への増額は認められない。」との結論に達した。

町長 令和8年1月末時点で、000万円を超えるものの累積赤字は1億3,000万円を超えている。議会全員協議会において、何の改善策も示さぬまま増額ありきの説明を繰り返すばかりで、委員会軽視と言わざるを得ない。

ど、依然厳しい状況が続いている。7年度を「勝負の1年」と位置付けて、再建に取り組んできたが、数値目標をクリアするには至らなかった。町では、今回5,000万円の指定管理料を計上したが、町の財政状況を踏まえつつ適切に積算した。

笠原 「指定管理者の公募」については、築32年と老朽化が進み、現在の経営状況では手を挙げざるを得ない状況である。かなり厳しいと考へる。同業の大手企業などに直接出向くなどの、営業努力が必要だ。新たな指定管理者をどの様に公募していくのか。また、公募しても手を挙げる企業がなかった場合、令和9年度のハタハタ館をどうするつもりなのか。

町長 令和9年度の事業者選定については、同業種に関して深い知見を持つ



今年3月から再開されたトレーニングルーム



八峰町の観光の拠点となっているハタハタ館

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

5人の議員が一般質問

3月定例会では5名の議員が町政について質問しました。

p11 笠原 吉範 議員

- 1 ハタハタ館の「指定管理料の増額」と「指定管理者の公募」について

p12 須藤 正人 議員

- 1 御所の台エリア再構築事業について

p13 腰山 良悦 議員

- 1 農林漁業・観光振興について
- 2 空き家対策について
- 3 高齢者対策について

p14 山本 優人 議員

- 1 移住者の住宅支援について
- 2 テレビ回覧板の導入について

p15 見上 政子 議員

- 1 税減免の家族金融機関調査は廃止を
- 2 高齢者の難聴対策
- 3 主要道路の除雪の雪山対策は



一般会計原案起立採決、賛成5

一般質問とは？

町のさまざまな課題について、議員が住民の声や自身の考えを元に、提案も含めて町の方針を問うものです。



こしやま りょうえつ 腰山 良悦 議員

腰山 今後、農林漁業を取り巻く環境は、物価高騰、高齢化、後継者問題などにより厳しい状況になってくると考えられる。生産性の向上を図り、安定した収入により若者が定着できるような環境づくりが必要。これまでの支援策に今後新たにどのような支

町長 農林水産業は町の基幹産業であり、農機具・漁具の購入費など多くの支援を行ってきた。また、国や県と連携したスマート農業に対応した機械の導入支援や、ほ場の区画拡大を目的

腰山 現在の空き家数は、

町長 令和7年3月末時点で432棟、このうち管理不全により危険な状

空き家対策、現状は

町長 空家等対策計画を策定



地域おこし協力隊報告会と同時に行われた干し芋の試食会

とした事業を推進している。今後は新たな町ブランドのふるさと納

税返礼品等の開発に着手し、町の農林水産業の振興に取り組む。

防災町民課長 個人の資産に対して改修・修繕等をする予算は持っていない。一方

腰山 持ち主がどこにいても分らない危険な空き家もある。住民からの要望や、町として危険と判断した場合、全面的に直すまではいかなくとも、危険回避のために補修を行うなどすれば空き家問題を解消する一つの手だてだと思ふが。



この他、高齢者対策についても質問しました。



すとう まさと 須藤 正人 議員

御所の台再構築 一旦立ち止まるべき

町長 町でできることから進めている

須藤 御所の台エリア再構築構想の概算を含めた説明では、ハタハタ館、既存施設改修、委託料道の駅新設など計5億円かかるという。令和7、8年度をかけてこのプランを自前で作成することになっているが、8年度の施

政方針の中で町長はこのことに一切触れず、関係予算も入っていない。ハタハタ館は経営危機に直面しており、到底この構想の核とはなれない状態が続いている。一旦立ち止まり、社会情勢や町の財政等が良くなったら再度プランを立てるべき。



令和5年に示された御所の台エリア再構築イメージ図

町長 本構想の策定当初は、舵取り役となる民間事業者の参入を促し、その事業者よりエリア全体の詳細プランが作成されることを期待していたが、令和6年以降、事業者から合意に至るような提案がなかった。

現在は町単独でも実施できるものから、順次取り組みを進めているところである。直営版・未来ビジョンで掲げた、6項目の優先事項のうち4項目については今年度から事業に着手しており、新年度にも関係予算の

一部を計上している。今後は民間事業者の確保に努めるとともに、総務省のマネジメント事業等を活用し、観光地の再開発等に精通した専門家の招へい等についても検討を進めていく。アウトドアエリアの

町長 令和5年に作成されたプランのゾーニングを全て実現すると民間事業者の資金力が不可欠。まずは町でできるところを少しずつ進めながら、新たに民間事業者の協力が得られれば、改めてゾーニングが実現できるような取り組みを進めていきたい。

須藤 大きなプランは作る必要がないのではないかと。道の駅はちもりの移転費用は、令和5年6月時点で約5億円と試算されており、資金調達に一定の目処がついてから進めるべきと考えている。



見上 政子 議員

見上 経済的に行き詰まり、生活保護を申請するまでもなく、税金が払えない世帯への減免規則がある。

町長 世帯全員の預貯金を確認するため、同意をもらった方の預貯金照会を行っている。検討材料として合理性があり、規則の見直しは考えない。

見上 今冬、除雪による雪山が高く積まれている光景を目にした。八森地域の国道沿いにある信号付近や、児童生徒のスクールバスの乗降場所は非常に危険だった。排雪が進まない原因は、

町長 2月末時点での累加降雪量が402cmを超えた。排雪作業は、職員のパトロールの他、委託業者への聞き取りや自治会からの要望を受け実施日時を調整していた。しかし、1月26日以降の降雪により、除雪作業に時間を要し、スクールバスの乗降場所や交差点付近の雪山の排雪は1月31日から着手となった。今後は県や委託業者、関係者と適切に対応で



石川地区の道路脇に寄せられた雪



同上箇所
雪のない時



山本 優人 議員

町営住宅の低家賃・固定化を

町長 家賃の上限・住宅譲渡を検討する

山本 若い人たちの住宅費負担が増え、収入がそれほど高くない若者世代にとって住宅の新築や購入はハードルが高く、賃貸住宅を借りる場合であってもニーズに合う物件も多くない現状である。

部空き家となっており、空き家は放置すれば老朽化が進む一方、適切に管理できれば地域資源であり、移住の受け皿として重要な役割を果たすものもある。どんな家でも人が住まなければ傷みが早まり、ますます人が入らない悪循環となる。ま

た、空き家を維持する経費を考えると、移住者を増やすことが地域活性化に繋がるとの認識があれば、低額な家賃、固定額化が有効と考える。収入条件を見直すことで入居者を増やし、退去しない工夫をすべきだ。

町長 住宅家賃の金額については、町営住宅及び地域活性化住宅は、公営住宅法に基づき設定しているものであり、そのうち地域活性化住宅については、上限を設けたい。また、30年経過した地域活性化住宅については、長い期間そこに住んでいるのであれば、土地の分筆等の課題はあるが、無償で譲渡するような取り組みも今後必要になるなど、今後も移住しやすい環境づくりを進める。

「町営住宅」と「地域活性化住宅」の違い
○町営住宅…公営住宅法に基づき建設。
⇒応募要件や家賃算定など、公営住宅法に従わないといけない。
○地域活性化住宅…耐用年数(30年)を超えた町営住宅を管理変更する。
⇒公営住宅法の適用外になることで、町の裁量で管理が出来る。

	町営住宅	地域活性化住宅
募集の制限	有り(公営住宅法)	無し 「子育て世帯を優先する」など、独自の裁量を設けることができる。
家賃設定	有り(公営住宅法) ・所得額により家賃が変わる。 ・月の所得が15万8千円を超えると、割増となる等。	無し ・所得階層、所得制限なしに設定できる。



かもめ団地(岩館)R8からすべて地域活性化住宅へ

減免世帯の預貯金調査の廃止を

町長 見直しはしない

町長 世帯全員の預貯金を確認するため、同意をもらった方の預貯金照会を行っている。検討材料として合理性があり、規則の見直しは考えない。

高齢者の難聴に支援を

町長 補聴器の補助を検討

見上 難聴の早期発見・治療は、認知症の予防になると言われている。しかし、補聴器は高額で

ある上、調整のため何度も病院に通わなければならない。高齢者が集まる機会が多い介護予防教室で

町長 難聴による難聴検査を行い、早期発見・早期治療につなげられないか。健康寿命を延ばすための対策は。

町長 難聴による後期高齢者向けのフレイル予防事業が好評である。令和8年度は予算を増額し、内容の充実を図る。

町長 情報提供に有効として検討する

山本 自宅のテレビで町の広報やお知らせ、行事予定をテレビ閲覧板という方法を利用することができる。

町長 インターネット環境が整っていない家庭やパソコンなどの操作が苦手な方でも、テレビがあれば簡単な操作で町が発

町長 地デジ対応のテレビをお持ちの家庭であれば新たに利用申込みの手続きが不要であることから、情報提供に有効な手段の一つと考える。今後は、課題の整理等を行いながら、導入の可否を検討したい。

テレビ閲覧板導入の考えは

町長 信する様々な情報を入力することができるが、導入の考えは。

福祉保健課長

町長 全な除排雪作業に努める。

特集

平成18年(2006年)3月

八峰町と峰浜村が合併し「八峰町」が誕生
それぞれ14人ずつ(計28人)の議員定数を16人に決定



平成18年(2006年)4月選挙

16人の定数に17が立候補
・人口9245人
・加藤和夫町長による町政スタート
・平成18年10月 峰浜庁舎が火事で焼失
・平成21年 現在の庁舎が完成
・議員定数2人減(16人→14人)



平成22年(2010年)4月選挙

14人の定数に16人が立候補
・人口8656人
・平成23年3月議会定例会中に東日本大震災発生
・議員定数2人減(14人→12人)



平成26年(2014年)4月選挙

12人の定数に15人が立候補
・人口7987人
・平成29年からタブレット端末によるペーパーレス議会を開始



平成30年(2018年)4月選挙

12人の定数に13人が立候補
・人口7284人
・森田新一郎町長による町政スタート
・元号が平成から令和へ
・令和2年新型コロナウイルス感染症の流行



令和4年(2022年)4月選挙

12人の定数に12人が立候補
初の無投票
・人口6603人
・令和4年11月 森田新一郎町長逝去
・令和5年1月 堀内満也町長による町政スタート
・議会改革検討委員会を設置。議員定数、議員報酬は据え置きと決定。

令和8年(2026年)4月選挙

12人の定数に13人が立候補
8年ぶりの選挙
・人口5869人

八峰町議会 20年のあゆみ

八峰町議会は、町とともに2026年に20年目を迎えることになりました。議会だよりの表紙とともに振り返ります。

皆川議長、山本副議長、腰山議員、笠原議員、水木議員が自治功労者表彰を受賞

5名の議員が、長年にわたり地方自治に貢献した方に授与される「地方自治功労者表彰」を受賞しました。皆川議長、山本副議長、腰山議員は町村議会議員として15年以上在職、笠原議員と水木議員は11年以上在職し、現在に至るまで地方自治の発展に尽力されました。



山本副議長 腰山議員 笠原議員

6月議会定例会お知らせ

6月10日(水)	本会議1日目 行政報告、議案審議ほか 町から議案の説明を受け審議します
6月11日(木)	本会議2日目 一般質問 ※休会の場合あり
6月12日(金)	本会議3日目 一般質問 町の施策や課題について、議員が質問します ※改選後の議員により決定

●会場：役場2階 大会議室
※開会は10時からです。終了時間は議案数、一般質問者数、進行等によるため未定です。
※議会は町民の生活に直結した重要な問題が審議されます。本会議はどなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。団体での傍聴を希望する場合は議会事務局へご連絡ください。
(問合せ先：議会事務局 76-4607)

今月の表紙

新しくできたごみ処理場を見学

能代山本クリーンセンターを議員一同で見学しました。工場でありながら、点字ブロックや障がい者用トイレ等、バリアフリーになっているのも印象的でした。



子どもでも楽しく見学できる展示物やゲーム

能代山本クリーンセンター

ポンポコ山の隣に完成した、これまで南部清掃工場と北部粗大ごみ処理工場で行っていたごみ処理を集約した施設。
1日5トンのごみ処理能力を持ち、4月1日から稼働しています。



大量のゴミをつかんで攪拌する巨大クレーン